

手洗いの重要性

～たかが手洗いされど手洗い～



日々の生活の中で簡単に出来る手洗いが、感染症の原因となる病原体を除去することに有効なことはご存知かと思えます。

外から家庭に病原体を持ち込まない、家族に病原体をうつさない、自分自身を病原体から守るために、手洗いについて正しい知識を身につけましょう。

生殖医療と手洗い

精液検査や人工授精・体外受精の採精の際にも手洗いは重要です。

『精液中の細菌の多くは常在菌（ヒトの皮膚や粘膜皮面に潜んでいる菌）であることから、採精時によく手を洗うなどして清潔に保ち菌の混入を防ぐことは重要です』

精液に細菌が混入することによる影響は大泉 News Paper No. 116 をご参照ください。

手荒れに気をつけよう

皮膚や手が荒れていると、その隙間に病原体が入り込み、手洗いをしても除去しにくくなります。



感染の予防にはスキンケアが必要

手洗い時の注意点

- 手洗いが不十分となるので、時計、指輪ははずしましょう。
- 手洗い後、ペーパータオルを使用し十分に乾燥させます。
(タオルは水分を含んでいる場合が多く、病原体も潜んでいます)
- 手洗い後は、蛇口に直接ふれないようにしましょう。
(蛇口の開閉は、自動センサー式が望ましい)

基本の手洗い手順

手洗いの基本手順を身につけ、しっかり病原体を除去しよう



洗い残しの多い箇所

ちゃんと洗ったつもりでも、意外に洗い残しが多いものです。洗い残しやすい箇所は、意識してしっかり洗いましょう。



クリニックでの院内感染対策

当院では定期的に手洗いチェッカーによる洗い残しのチェック・滅菌出来ない医療器具については細菌検査の実施をしています。

また、採卵や胚移植を行う手術室と培養室は清潔区域として、入室時の手洗い・清潔なガウンの着用・帽子・マスクの着用により感染対策を行っています。